



外国出張報告書

平成 27 年 1 月 23 日

1. 出張国名 タイ、インドネシア、ミャンマー
2. 出張月 平成 26 年 4 月～12 月
3. 出張目的 東南アジア連絡拠点業務、：D、農地実証試験の実施：A、
技術の普及可能性評価：C、新規プロ提案のための FS 調査：D

4. 成果の概要

農林水産業関連会議への参加、現地調査等により、東南アジア地域における優先研究課題等の情報を整理した。

タイ及び周辺国における JIRCAS の活動を支援するため、関係機関との情報交換や JIRCAS 活動の紹介を行った。また、インドネシアで、化学肥料削減技術の農家実証試験のベースライン調査を行い、農家の化学肥料施用量と生産費の現況を把握するとともに、タイで実施している有機物長期連用試験を継続し、地力を高めつつ土壌有機炭素を維持できる技術として不耕起栽培を提案できる可能性があることを把握した。

さらに、インドネシアにおいて、農村調査データを分析し小規模農家のオイルパーム果房収量を規定する要因を求めるとともに、未利用バイオマス資源利用技術の普及に必要な条件を関係機関への聞き取りにより把握した。

また、同国東ヌサテンガラ州と南スラウェシ州の農業の現況と問題点を現地調査により把握した。